

経営比較分析表（平成28年度決算）

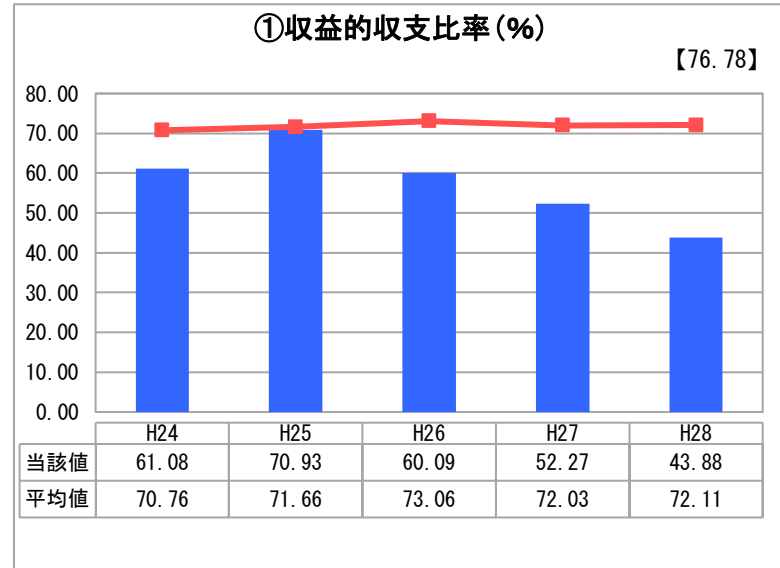
北海道 幌加内町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D4	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	83.96	2,940	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
1,576	767.04	2.05
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
1,298	26.98	48.11

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



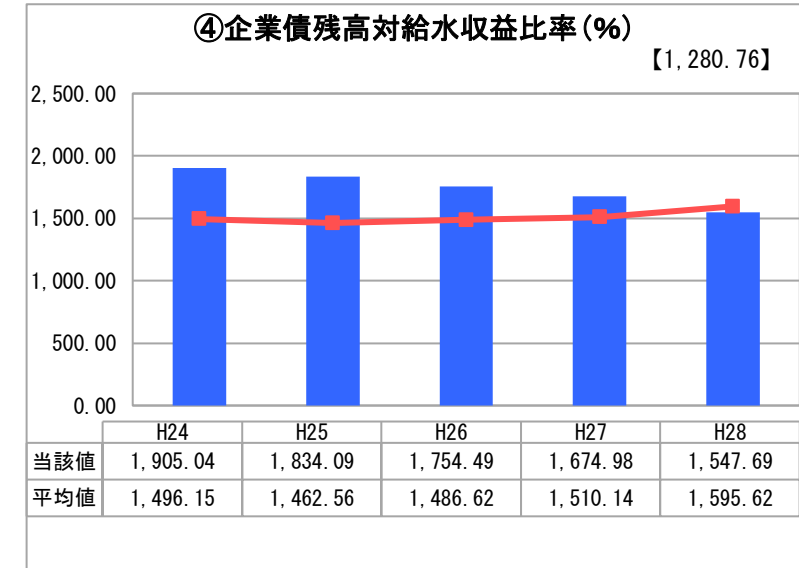
「単年度の収支」



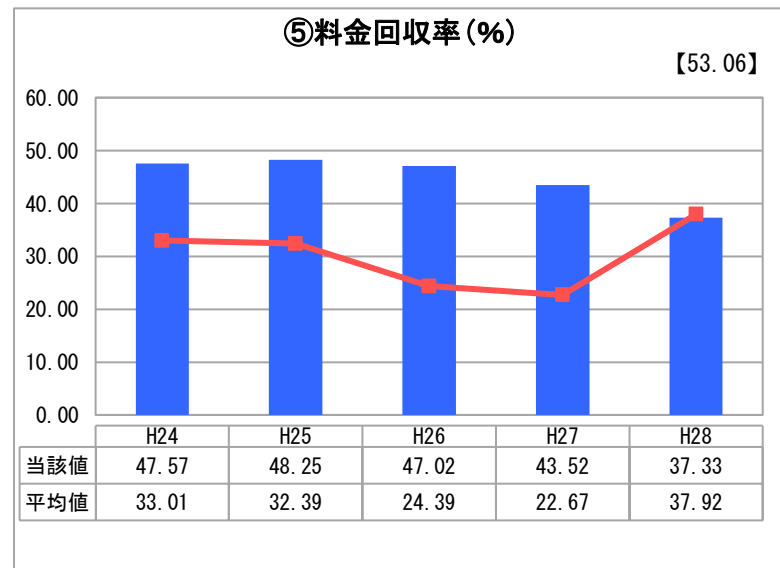
「累積欠損」



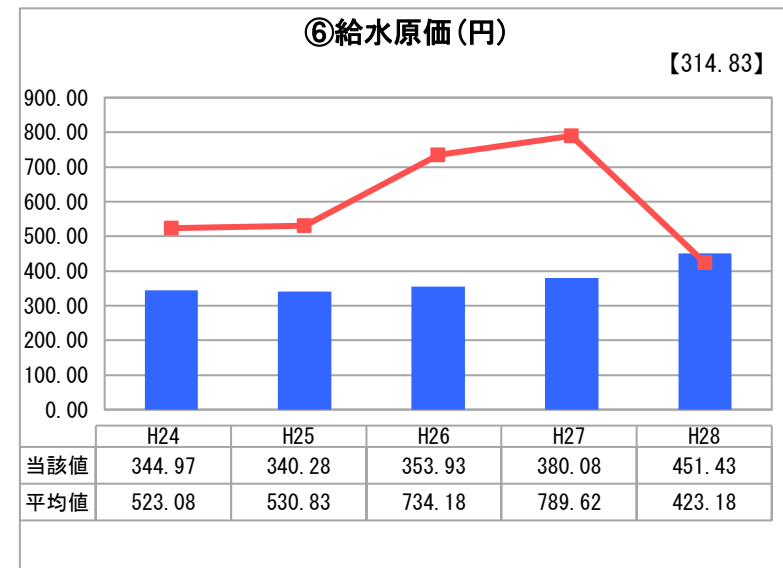
「支払能力」



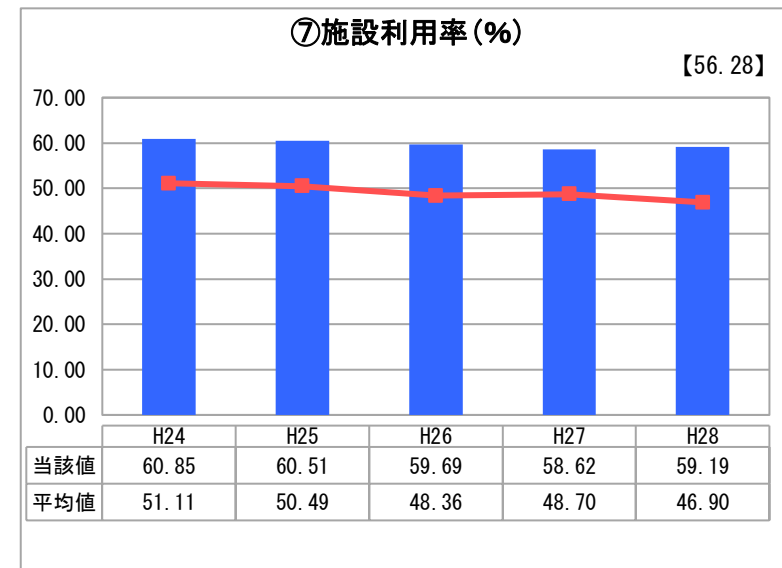
「債務残高」



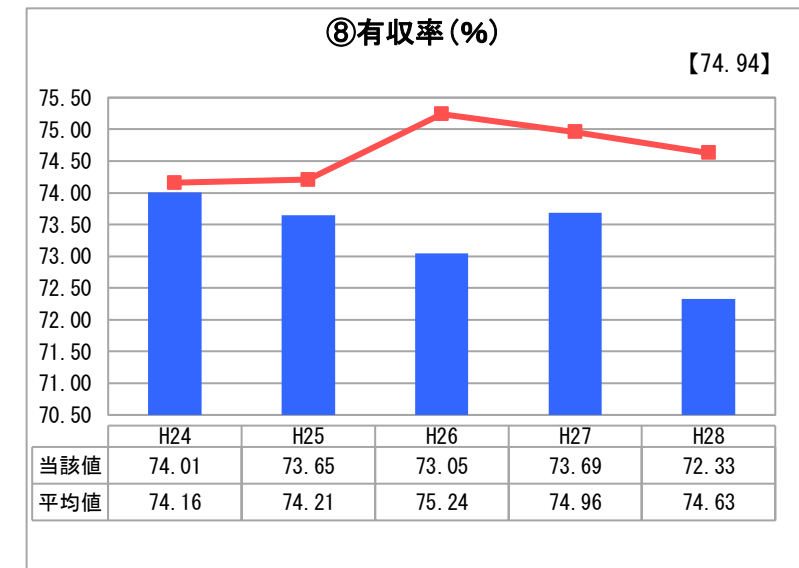
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」

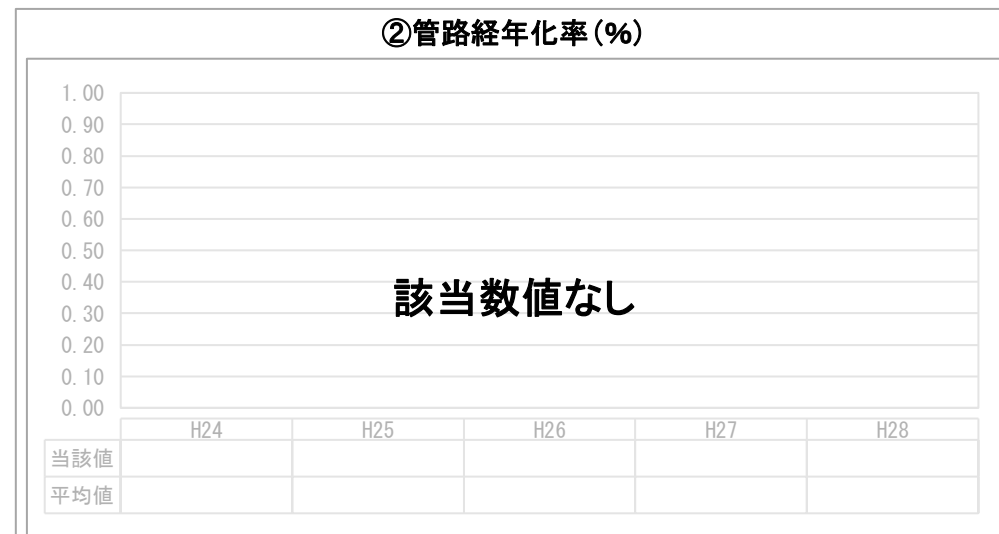


「供給した配水量の効率性」

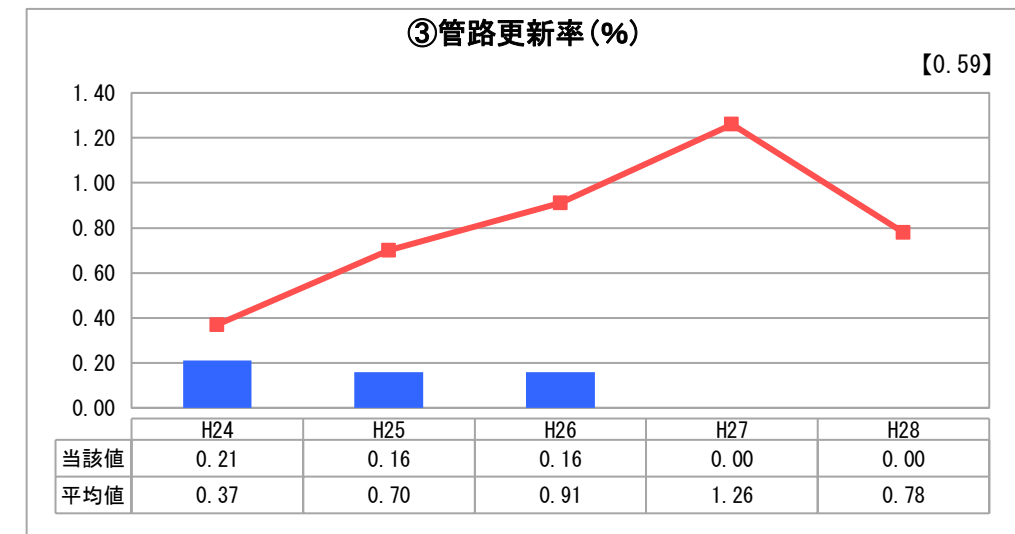
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本町の簡易水道事業は、類似団体平均と比較すると料金回収率が高い水準となっていたが、H28は平均となっている。料金改定を行っても人口減少・節水等により、給水収益の増収があまり見込めない為、収益的収支比率は改善されない状況となっている。しかし、有収率についてはH24～26年まで悪化傾向にあったが、H27年に微増ではあるが有収率を上げることが出来た。H28年より、また右肩下がりとなっている。今後も漏水の早期発見・修理に努め有収率の向上を図っていく。

2. 老朽化の状況について

類似団体と比較し更新率が非常に低い状態であり、経過年数及び財源の確保なども視野に入れ、今後の更新を計画していく必要がある。

全体総括

当町は平成18～20年度の3年間で料金改定を行い給水収益の増収を図ったが、人口減少等により増収が見込めない状況であり、一般会計からの多額の繰入により運営している状況にある。有収率の向上に努めるとともに維持管理のあり方などを見直し、将来に向けた経営の見直しをしていく必要がある。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。